

八十嶋洋子プレゼンツ

クララの室内楽

第6回



絵:三村晴子



野田 一郎 (コントラバス) 八十嶋 洋子 (ピアノ)

助演 野田 裕美子 (ヴァイオリン)

『旅するクララ、フランクフルトで過ごした人生最後の日々』

晩年のクララの魂を絶えず揺さぶり続けたブラームス、そしてヨアヒムをはじめ音楽仲間、弟子達が集ったフランクフルト、ミリュス通り32番地。息子たちの早すぎる死を受入れ、心労をかかえつつも最後まで真実の音楽と愛を求め続け、娘達に見守られて、クララはこの家からひとときも忘れた事のない夫ロベルトの元へ旅立ちました……
トップ奏者としてこの地で輝き続けている野田氏と共に奏でます。

(八十嶋洋子)

クララ・シューマン編曲: バダルフリーユゲルの為の練習曲 op.56 (R.シューマン) (p)

グリエール: プレリュードとスケルツォ op.32 (cb,p)

フランセ: モーツァルト・ニュールク (野田一郎の為に) (cb,p)

ショパン: ピアノ協奏曲第2番 op.21 第2楽章 (p)

ベートーヴェン: ピアノソナタ「熱情」op.57 第3楽章 (p)

ブラームス編曲: 「シャコンヌ」クララに捧ぐ (J.S.バッハ) (p)

ブラームス: 青春の歌 op.63より「我が恋は緑」他 (フェリックス・シューマン詩) (cb,p)

ヨアヒム: 「ヘブライのメロデー」op.9より (vla,p)

ジョンゲン: プレリュード、ハバネラとアレグロ op.106 (cb,p)

ブラームス: 間奏曲 op.119-1「灰色の真珠」(p)

2018. **11/25** 日 開演15:00
(開場14:30)

ヤマハ銀座スタジオ

(ヤマハ銀座ビル 地下2F)

料金 一般 4,000円 / 学生 3,000円 ※全て税込 定員 112名 全席自由 **要予約** ※未就学児のご入場はご遠慮願います。

チケットお申し込み ヤマハ銀座店 5階 ピアノ売場 TEL. 03-3572-3132 (電話受付 11:00~19:30)

共催/ヤマハ銀座店 03-3572-3132、スタジオ・フリーデル 03-5700-4055 後援/日本ブラームス協会、銀座十字屋 協力/(株)インターミュージズ・トーキョウ

シリーズ全8回を予定している「クララの室内楽」もすでに道半ばを過ぎた。毎回パワーアップして充実のコンサートを重ねている。ロマン派の巨匠シューマンがピアニストとして有能であった妻クララと過ごした年月を、シリーズの主宰である八十嶋洋子がチェリストであった亡夫との歳月に重ね合わせ、クララの生き方や音楽、そして何より愛に生きた女性の一生を、毎回「この人に語ってもらいたい」というゲストを招き、様々な角度から光を当て浮かび上がらせて行く試みである。手作りのこのコンサートは新しい切り口で音楽に迫り、聴衆に新鮮な喜びを伝えてくれる。今回はいよいよクララ本人の核心に迫ってゆく。今年3月、八十嶋がフランクフルトの晩年クララが過ごした家を訪ね、夫亡き後子供たちとどう過ごしたのか、目で見、肌で感じたクララの実像、そして彼女の演奏、教育活動の現場に触れた心情などが音楽のフィルターを通して語られてゆく。ブラームスが名付け親になった末息子フェリックスの自作詩によるブラームス作曲の歌曲も披露されるという。ますます目が離せないコンサートになりそうだ。 (銀座十字屋／森泰義)



野田 一郎 (コントラバス)

長野市出身。東京藝術大学で今村清一、江口朝彦両教授に師事し卒業後渡独、旧西ベルリン国立音楽大学でR・ツェベリッツ教授に師事。在学中の1979年マルクノイキルヘン国際音楽コンクールで二位入賞。翌年同校を卒業と同時に、フランクフルト歌劇場オーケストラの第一首席コントラバスに就任。同年よりマインツ室内合奏団とマインツ管楽アンサンブルに属し、ヨーロッパ各地においてコンサートや作曲家ジャン・フランセの作品初演、CD・放送録音などで演奏。1982年アイル・オブ・マン国際コンクールで特別賞受賞。1989-1994年ヴェルツブルク音楽大学、2000-2013年ダルムシュタット音楽芸術アカデミーにて教鞭をとる。1990年からは毎年日本でも、ヘルムホルツ音響理論に基づき座奏・ガット弦などを取り入れた『野田・ステア』コントラバスセミナーを開催。2005年以来ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者ホセ・バスケスに古楽を学び、ガンバ及びヴィオローネによりルネサンス・バロックの分野においても定期的に演奏活動。四季を問わず、余暇の大部分を自転車に乗って過ごす。子供時代からの趣味は鉄道・鉄道模型。



野田 裕美子 (ヴィオラ)

東京都出身。東京藝術大学で海野義雄教授に師事、在学中フランス政府給費生としてパリ国立高等音楽院に留学、P・ドゥカンとJ・ユボー両教授に師事、ヴァイオリンと室内楽ともに一等賞を得て1981年卒業。同年渡独しヴァイオリンをI・オズィム、室内楽をN・ブレニン、ヴィオラをS・コロエ各氏に師事。1984-1985年カッセル国立歌劇場及び1985-1988年フランクフルト放送管弦楽団それぞれのコンサートマスターを務めた後、1988年フランクフルト歌劇場オーケストラの第二首席ヴィオラに就任。2005年オーケストラ退団以降、フリーのヴァイオリン及びヴィオラ奏者として、ヨーロッパ各国、ブラジル、日本で演奏、また演劇プロジェクトにおいて演技も含めた活動多数。2011年から一人デュオ『エイリアス』により、オリジナル編曲を中心に教会コンサートや美術展、レセプションなど様々なステージに立つ。録音にレーガー・ピアノ三重奏(CD, Etcetera records)、訳書に『シュルツェのいたずらオペラガイド』(共訳、音楽の友社)など。



八十嶋 洋子 (ピアノ)

東京都出身。東京藝術大学ピアノ科卒業。旧西ベルリンにてピアノをG・ブッフヘルト、D・ヘクスタ両氏に、室内楽をR・ワインスハイマー氏に師事。在独中ジュネーブ国際コンクール他、多くのコンクールで伴奏ピアニストを務める。ベルリンのロイヤルアカデミーオブダンスの正式ピアニストとして数々の公演に出演。1982年ベルリンフィルハーモニー室内楽ホールにて八十嶋龍三とのデュオでデビューの後、チェロとピアノの作品の研究を続け、ドイツ日本各地で演奏活動を続けた。大学在学中より永年にわたり、日本を代表する作曲家、平井康三郎氏に師事、多くの日本歌曲の初演、ピアノソロでNHK-FMに出演。現在ピアノソロをはじめ、(チェンバロを含む)室内楽奏者、伴奏者として活動の他、国立がん研究センター他、病院、施設での音楽会企画にも積極的に取り組んでいる。これまでに、久保田裕子、林美奈子、松崎俊三、永井進、田村宏、の各氏に師事。吉祥女子中学高等学校課外講師。また、スタジオ・フリーデル、チェロアンサンブルの“ゴージュの会”を主宰し、恩師である“ベルリンフィル12人のチェリストたち”の創始者ワインスハイマー氏と現在の“12人”の協力を得て夫の遺志を継ぎ、チェロ合奏の楽しさを広めている。2018年3月ドイツのボルケン、フランクフルトにて室内楽コンサートに出演。

「クララの室内楽」これまでとゲストの方々

- ◎ 2015 「シューマンとクララ、シューマン家の音楽会」 西原 稔(音楽学者)
- ◎ 2015 「クララの結婚で湧き上がる愛の交歓～シューマン珠玉の歌曲集」 小川哲生(声楽家)
- ◎ 2016 「ブラームス…クララ・シューマンと歩んだ音楽の人生」 漆原啓子(ヴァイオリニスト)、西原 稔
- ◎ 2016 「パリの与謝野晶子、愛の確認…そして音楽」 萩原 茂(日本近代文学研究者)
- ◎ 2017 「ベートーヴェンともう一人の不滅の恋人…テレゼ」 西原 稔



クララ家の居間



■お問合せ・お申込み
ヤマハ銀座店
 5階 ピアノ売場 TEL. 03-3572-3132 FAX. 03-3574-7986
 株式会社ヤマハミュージックリテイリング 銀座店
 〒104-0061 東京都中央区銀座7-9-14 〈営業時間〉11:00~19:30 〈休休日〉毎月第2次曜日
<https://www.yamahamusic.jp/shop/ginza>

